

漢文 〈二〉

漢文 〜 故事成語 〉

今回の学習のポイント

故事成語とは？

国語監修・執筆

初山秀夫

故事成語とは？

故事成語とは、主に中国の昔の書物にある話や事柄からできた、特別な意味を持つようになった言葉をいいます。

昔 ↓ 「故」 事柄 ↓ 「事」 できた ↓ 「成」 言葉 ↓ 「語」

出どころになった書物のことを、出典といいます。三字や四字の熟語の中にも多くの故事成語があります。

私たちがふだん何気なく使っている言葉の中にも故事成語が含まれていることがあります。例えば、「明日の試験はこれで完璧だ。」「作文は提出する前に十分に推敲しなくちゃね。」「残念ながら僕はその試合で有終の美を飾ることはできなかったんだ。」などです。「完璧」はまったく欠点がないこと。「推敲」は詩文の字句を何度も練り直すこと。「有終」は終わりを全うすること。もちろん皆さんは、意味も理解して使っているはずですが、でも、これらのもとは漢文なのです。知らなかったという人も多いかもしれません。「完璧」は『史記』、「推敲」は『唐詩紀事』、「有終」は『詩経』が出典です。こういった言葉は私たちの生活の中に溶け込んでいますが、間違った使い方がされていることもあるようです。意味をきちんと理解して、豊かな言語生活を送りたいものです。

以下に、故事成語の例をいくつか挙げてみたいと思います。

青は藍より出でて藍よりも青し

…… 弟子が先生よりすぐれること。

一網打尽 …… 悪人の仲間などを一度に残らず捕らえること。

温故知新 …… 古い事柄を研究し、そこから新しい知識を導き出すこと。

漁父の利 …… 第三者が利益を横取りしてしまうこと。

紅一点 …… 多くの男性の中に一人だけ女性がいること。

五十歩百歩 …… 本質的には差のないこと。

守株 …… 古い習慣を固く守って、新しい時勢に対応できないこと。

助長 …… 不要な力添えをして、かえって害すること。

杜撰ずさん……………計画や仕事がいい加減で、間違いが多いこと。
 切磋琢磨せつさたくま……………同志や自身で学問や道徳の向上に励むこと。
 蛇足だそく……………余計なつけたし。
 登竜門とうりゅうもん……………立身出世につながる難しい関門。
 虎の威を借るとらのかい……………他人の権力を笠に着ていばりちらすこと。
 破天荒はてんこう……………今までだれもしなかったことをして初めて成功すること。
 背水の陣はいすい……………決死の覚悟で事にあたること。
 矛盾むじだん……………話のつじつまが合わないこと。

まとめ

故事成語は身近でよく使われる言葉ですが、誤った使い方をしないためにも、背景にある中国の昔の話や出来事をよく知る必要があります。話といっても、ストーリーは意外とわかりやすく簡潔で、おもしろいものがたくさんあります。楽しみながら読んでほしいと思います。

故事成語は古くさいものではありません。日本人は千年以上も前から中国の古典に接してきましたが、故事成語には現代の私たちにも通用する、生きていくうえで役に立つ知恵や教訓がたくさん詰まっています。興味をもって学習に取り組み、十分に吸収しましょう。